

第2次大分市未収金徴収対策方針の実績について

1 経過

未収金の早期解消と発生防止に全庁的に取り組むため、平成19年9月に「大分市未収金徴収対策会議」を立ちあげ、1次（平成19年度～平成21年度）、2次（平成22年度～平成24年度）の計画期間において基本方針と数値目標を設定し、関係部署の連携強化と知識・ノウハウの共有を図りながら、各種未収金徴収対策を推進してまいりました。

2 第2次（平成22年度～24年度）の主な取組

- (1) 財産調査、差押え、インターネット公売の実施
- (2) 裁判所を通じた法的手続の実施及びその取組状況の掲示
- (3) 口座振替の推進、コンビニ納付の実施
- (4) 債権管理マニュアルの作成
- (5) 外部講師等による未収金徴収実務研修の実施

3 目標値と達成状況

(1) 未収金徴収額

【目標】平成21年度末における未収金累計額87億2千7百万円から3年間で32億1千6百万円を徴収する。

(単位：百万円)

	平成21年度末 未収金累計額	徴収額			合計 徴収額
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
目標額	8,727	1,729	914	573	3,216
実績額		1,843	1,010	658	3,511
差額（実績額－目標額）		114	96	85	295

(2) 未収金収納率（滞納繰越分）

【目標】平成24年度末における未収金収納率（滞納繰越分）を22.1%とする。

	平成21年度 収納率	収納率		
		平成22年度	平成23年度	平成24年度
目標率	19.6%	20.0%	21.6%	22.1%
実績率		21.3%	22.6%	24.9%

<参考>未収金累計額の推移

(単位：百万円)

平成21年度末	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末
8,727	7,998	7,075	6,110